

学校法人 福岡学園 令和2年度事業計画

本学園は、大学、施設が自らの特色や役割を明確化することにより、医療、保健、福祉分野における社会のニーズの多様化に対応し、健康長寿社会の実現に向けて積極的に事業活動を展開している。

今年度は、新病院の開院、看護系大学院の新設準備などの基盤整備を着実に進めるとともに、「学生が意欲を持って学び、卒業生が誇れる母校」、「地域社会への貢献」、「口腔医学の推進による医歯看護学の進展への寄与」という学園の目標に向け、令和2年度の事業計画を次のとおり定める。

第三次中期構想	令和2年度事業計画
<p>1 教育に関する目標</p> <p>(1) 社会のニーズに応える医療人の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 高い倫理観と使命感を持ち、豊かな人間性を備えた、教養と良識のある医療人の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学は、カリキュラム全般の見直しを継続するとともに、ディプロマ・ポリシーを満たす人材を育成するため、カリキュラム・ポリシーに基づいた教育活動を展開する。 看護大学は、完成年度を迎え、学部教育のアセスメント・ポリシーの作成を検討する。 短期大学では、前年度作成したコモンルーブリックによる評価を実施し、妥当性を検証する。
<ul style="list-style-type: none"> 超高齢社会の中で、口腔の健康から全身の健康を守る医療・介護を実践し、多職種連携のもとに地域の医療・保健・福祉に貢献する能力を備え、高い生涯学習の意欲をもつ医療人の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学は、ディプロマ・ポリシーV：“超高齢者期における地域包括ケアの理解と実践”に係る能力の獲得状況を検証の上、可視化する。 看護大学は、完成年度にあたり、これまで展開してきた口腔医学を取り入れた領域ごとの看護教育内容を検証し、更なる改善の取り組みを行う。 短期大学では、専攻科生によるティーチングアシスタント制度とMoodleを通して利用できる動画教材を活用し授業外学修の充実を図る。また、コモンルーブリックによる汎用的スキル・専門スキルの可視化を行う。 初年度教育科目で、未来の医療/介護のイメージを理解し、その中で自らのキャリアをデザインすることを行動目標とする授業を継続実施する。
<p>(2) 口腔医学の確立・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略的大学連携支援事業の過去10年間の総括を行うとともに、今後の大学間連携の方針を策定する。 	
<ul style="list-style-type: none"> 現在および将来の社会情勢、教育制度や医療ニーズに対応した口腔医学の学問体系の確立・育成に取り組むとともに、社会への情報発信の推進、口腔医学教育の充実、多職種連携医療における口腔医学の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学では、連携大学とともに実施した医歯学連携演習TV授業の成果を活用した「医歯学連携演習」を引き続き実施する。 看護大学は、作成した教科書「看護で教える最新口腔ケア」を利用して、口腔ケア看護教育の充実を図る。 口腔医学における専門的知識及び技術の修得の方法を検討する。 短期大学では、前年度のスキルアップ講座内容のアンケート結果に基づき新たな講座を計画実施する。また、介護職、看護職を対象とした「口腔ケア実践教室」の開催ニーズについてのリサーチを実施する。 病院では、新病院の開院に伴い、連携病院のリストの見直し

第三次中期構想	令和2年度事業計画
	しを行うとともに、新病院に適った連携パンフレットまたは連携クリニカルパスを作成する。
<p>(3) 福岡歯科大学口腔歯学部の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔医学の知識や技術を身に付けた歯科医師を育成するため、改訂したディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づきカリキュラムを構築し、教育内容の改善・充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ディプロマ・ポリシーに係る能力の獲得状況を可視化し、それを基に改訂したディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの検証を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 大学間連携による口腔医学モデルシラバスを導入し、医歯学連携教育の充実を図るとともに、診療参加型実習の内容や評価法の更なる向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携大学と共同で作成した「災害口腔医学」のモデルシラバスを活用した授業科目を開設するとともに、臨床実習の充実を図るため、九州大学歯学部との学生相互派遣事業を引き続き実施する。 臨床実習後の臨床能力試験の本格実施の初年度にあたり、十分な準備のもと臨床実地試験、一斉技能試験を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> 学修成果の可視化を通じてアウトカム基盤型教育を推進し、学習意欲の高揚と教育効果の向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> シラバスの内容について、運用により可視化された獲得能力の妥当性の検証（外部テスト・アンケート調査等）を行い、次年度以降の運用のための修正を引き続き行う。また、令和元年度の検証結果を踏まえ、より学生の学修の指標となるようシラバス内容の見直しを行う。
<ul style="list-style-type: none"> 体験学習や新しい学習到達度評価の充実に取り組み、初年次からの自己問題提起・解決型能力と総合的な学習能力の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年積み上げ型の総合学力試験の結果を検証のうえ、試験内容等の改善を図り、低学年からの総合的な学習能力の向上に取り組む。 総合型選抜1期及び学校型選抜の入学予定者に対する入学前教育の実施結果を検証のうえ、入学前教育の内容等の改善を図り、初年次から問題解決能力の向上に取り組む。また、入学までの学習計画等の面談を実施する。
<p>(4) 福岡歯科大学大学院の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究基盤能力向上のための教育体制の確立とともに、修学支援体制を充実させながら、多面的な研究指導体制による高度な研究能力の涵養を図ることによって、先進的な研究成果の創出につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大学院生が自立して研究活動を遂行できるよう適切な支援・助言を行う専門員の配置やサポート体制の構築等の環境整備を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 地域連携、産学官連携、国内外研究機関との研究交流を通じて、組織的研究拠点として研究センターの活用を図りながら、口腔医学を基盤とした新領域や融合研究領域で活躍できる社会性・国際性豊かな人材育成を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 口腔医学を基盤とした研究から派生的に生まれた新領域や融合研究領域で活躍する人材育成を推進する。 変化する社会ニーズに対応した大学院カリキュラムの導入に向けた議論を開始する。
<ul style="list-style-type: none"> 医科歯科総合病院と口腔医療センターを活用した臨床研究を中心としたカリキュラムの創成を通じて、高度専門職医療人の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際的に活躍できる臨床研究者の育成を図る。
<p>(5) 福岡看護大学の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療・看護ニーズに対応できる高度な専門的知識と技術を修得し、看護学の発展および人々の健康と福祉に貢献できる看護専門職の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 4年間の全教育内容に対して、看護系科目のシラバスの点検を実施する。また、「設置計画履行状況等調査」（アフターケア）に対する対応を行う。

第三次中期構想	令和2年度事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習施設との連携強化と実習指導体制およびリスク管理体制を整備し、実習の質向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学と実習施設の連携強化と実習体制の整備を引き続き行う。統合看護学実習では、口腔医学に基づく看護ケアを重視した臨地実習に取り組む。また、実習の質向上のため、実習要項の見直し及び改善を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育研究基盤を充実させるため、2021年度(平成33年度)設置に向け、看護系大学院開設の準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院設置準備委員会を中心に、設置認可にかかる必要な諸手続、シラバスや授業科目の配置など、大学院教育を展開するための準備を進める。
<p>(6) 福岡医療短期大学の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔保健・口腔介護(要介護者への口腔ケア)教育を充実し、歯科衛生士・介護福祉士への志向を高めるとともに、専門的口腔ケア技術の教育内容・指導方法について継続的に検証・改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生学科では、臨床実習について、終了時のアンケート結果をもとに改善、検討を繰り返し、PDCAサイクルを稼働させる。また、次年度から開始となる改変した「介護研修Ⅰ～Ⅴ(介護福祉士実務者研修)」について、十分な教育が実施できるよう、準備を進める。 ・ 保健福祉学科では、医療的ケア教育のカリキュラムに沿って学修を進め、実地研修を修了させる。 ・ 短期大学では、大学教育再生加速プログラム(AP)の最終成果を取り纏める。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医科歯科総合病院・介護保険施設等との連携により、高度かつ実践的な教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生学科では、改善した内容で臨床実習を実施し、継続して実習指導者からの意見を聴取する。また、開業歯科医院臨床実習の巡回指導教員の人員について検討を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会のニーズ等を踏まえて、歯科衛生学科の学士課程への転換に向けた検討を継続し、保健福祉学科の改組(専門職業短期大学)を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き学士課程に対応できる教員の育成確保を図る。 ・ 今年度末の学科廃止に向けて文部科学省、福岡県等への届出・報告等の必要な手続き等を確実にを行う。
<p>(7) 教育の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様なFD・SD活動を通じて、教育の変化に対応し改善できる教育能力を持つ教職員の育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科大学では、前年度実施のFD・SD活動を検証のうえ、内容等の改善を図り、FD・SD活動を引き続き推進する。また、大学教育再生加速プログラム(学修成果の可視化)の成果を踏まえて、収集した教学データに基づいた教育方法・内容の改善に関するFD、ワークショップを開催する。 ・ 看護大学では、口腔医学を取り入れた新しい看護学についてのFDを継続して開催する。 ・ 短期大学では、体系的なFD・SD活動を企画・実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価や各種教学調査を実施するとともに、それらの検証方法を整備し、結果をフィードバックすることにより継続的な教育改善と質の向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科大学では、前年度に実施した授業評価アンケート結果並びに修学環境満足度調査結果を検証し、改善を引き続き実施することにより、継続的な教育改善に取り組む。 ・ 看護大学では、新たに修学環境に関連する満足度調査を実施するほか、授業の評価と改善については、PDCAサイクルを実行する。 ・ 短期大学では、授業評価アンケート結果や授業科目の評価等を担当教員、学生にフィードバックして、継続的な教育改善に取り組むほか、カリキュラムの改善について検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡看護大学および福岡医療短期大学においては、教員の資質向上のための学位取得支援体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護大学では、引き続き、学内共同研究や研究支援体制を整え、特徴を踏まえた研究活動を推進する。 ・ 短期大学では、教育・研究の活性化を図るため、他大学教員との共同研究について支援する。

第三次中期構想	令和2年度事業計画
<p>(8) 国家試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡歯科大学では歯科医師国家試験合格率の向上、臨床実習開始前の共用試験 (CBT、OSCE) および臨床実習後の臨床能力試験の全員合格を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 第114回歯科医師国家試験において新卒における合格者の増加を図る。また、共用試験の全員合格を目指す。 前年度の歯科医師国家試験結果、臨床実習開始前の共用試験の実施結果及び本年度から実施の臨床実習後の臨床能力試験の実施結果を、教育支援・教学IR室で分析し、その結果を教員にフィードバックするとともに、学務委員会及び部長会で検証のうえ、対応策を作成し、実施する。
<ul style="list-style-type: none"> 福岡看護大学では看護師・保健師国家試験の全員合格を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護大学では、国家試験100%合格を支援するプログラムを策定し実施する。
<ul style="list-style-type: none"> 福岡医療短期大学では歯科衛生士・介護福祉士国家試験の全員合格を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生学科では、前年度実施した口腔保健テーマ別講義の内容と時間数を検証し、国家試験対策を計画する。 保健福祉学科では、国家試験出題基準に準拠した教育指導を実施し、国家試験全員合格を目指す。
<p>2 研究に関する目標</p> <p>(1) 研究の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔医学を基盤とする基礎的・応用的研究を推進するとともに、関連大学・研究機関との連携による研究を漸進的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携センターでは、星の原団地住民を対象に「UR Community College」を開講し、健康講座と検診を組合せたプログラムを継続する。10年間にわたる早良区での健康に関する住民調査の結果をまとめ、地域包括ケアシステム構築のための課題発見とその解決方策の提案を論文としてまとめる。 歯科大学では、岩手医科大学との共同研究を継続して実施する。
<ul style="list-style-type: none"> 研究の適正化を図り、意欲的な研究活動を支援するための研究マネジメント体制を充実するとともに、研究センターによる先進的研究プロジェクトの展開と学園内共同利用研究拠点としての設備の活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的な研究活動を支援するための研究マネジメント体制を強化する。 歯科大学では、効果的なブラッシュアップを実施し、科研費新規採択率の向上を図る。 科研費採択率の向上を図るため、研究成果報告の促進と計画書作成について、看護部門長が支援するとともに、文部科学省の研究倫理eラーニングコース (eL CoRE) の受講を義務づける。また、学部学生には、倫理感の涵養に努める。 研究の適正化を図るために、学部学生、大学院生及び教員に対する研究倫理教育の拡充を進める。 口腔医学研究センターを中心に学園の3大学における研究基盤を強化し、国内外の研究機関との共同研究等の推進を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 学部学生から医療従事者までに広がる研究マインドの幅広い定着に向けた取組みを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学では、学生研究支援プログラム制度を活用し、研究マインドのある学部学生の育成を引き続き進める。 看護大学では、引き続き3年次の看護研究方法論と4年次の看護課題研究の2科目を活用し、臨床看護の研究マインドの涵養を図る。 研修歯科医と若手教員に対して研究マインドの重要性を伝える取組みを進める。
<ul style="list-style-type: none"> 口腔医学・口腔保健学・看護学・介護福祉学領域の共同研究を推進し、時代のニーズを先取りした医療・保健・福祉分野における新たな研究領域を創設する。 	<ul style="list-style-type: none"> 口腔医学研究センターを中心に学園の3大学における研究基盤を強化し、国内外の研究機関との共同研究等の推進を図る。(再掲)

第三次中期構想	令和2年度事業計画
<p>(2) 研究ブランドの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学的独自色（研究ブランド）を打ち出すために最優先研究課題を設定し、地域社会・国際社会のニーズに応える研究成果を生み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学では、ブランディング事業における研究成果を公表し、地域社会への還元を推進する。 看護大学では、各看護分野における口腔医療関連の看護研究テーマについて、学外看護教員との共同研究の準備を進める。 短期大学では、ブランディング事業により立ち上げた研究チームによる研究を継続し、研究成果を基に外部資金の獲得に繋げる。
<ul style="list-style-type: none"> 学長のリーダーシップの下、研究センター機能の充実、関連研究機関との交流と若手研究者の育成を通じて、先進的学術研究拠点の創出を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 大学院生や教員の研修派遣、受け入れ及び共同研究の実施を通じて、学外研究機関との交流を積極的に進める。
<ul style="list-style-type: none"> 全学的独自色に向けての取組みを加速させるために、全学的研究活動の管理・支援・評価体制の整備を進めるとともに、研究課題の事前調査と事後評価のための学園内外の連携体制の構築を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 口腔医学研究センターを中心に学園の3大学における研究基盤を強化し、国内外の研究機関との共同研究等の推進を図る。（再掲） 看護大学では、well-being、在宅医療・在宅ケアに関連する看護研究に関して、学外との連携体制を構築する。また、大学院修士課程で教授する口腔医療、口腔ケア教育に関する準備を進める。
<p>3 学生の支援等に関する目標</p> <p>(1) 修学等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の学生ニーズに応える修学支援システムや主体的学習支援体制の整備・充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学では、大学教育再生加速プログラム（学修成果の可視化）終了後の成果を踏まえて、アセスメント・ポリシーに基づく評価を実施する。また、成績不振学生に対するSAによる主体的学習の支援を継続するとともに、e-learningシステムの活用を促進する。 歯科大学では、教職員/学生ポータルサイトについて、学生の総合学力試験等成績表を蓄積し、学生の振り返りに活用できる仕組みに改善する。 看護大学では、個々の学生に対応した国家試験に関する指導や就職支援に応えるための体制の充実に取り組む。 短期大学では、引き続きe-learning教材を作成・蓄積し、時間外学修に活用するとともに、視覚媒体作成技術向上のためのワークショップを開催する。
<ul style="list-style-type: none"> 学生への経済支援・課外活動支援を充実するとともに、口腔医療、口腔保健、看護、介護を志向する学生への就職活動支援の拡充に取り組み、保護者の会、学生共済会や同窓会との連携強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 福岡歯科大学学生後援会及び学生共済会との連携を図り、学生への経済支援・課外活動支援の充実に取り組む。 看護大学では、就職活動支援のための講習プログラムを引き続き実施するとともに、キャリア支援室の活用策、二回目の就職合同説明会の実施を検討する。また、学生生活実態調査から、全学年の学生に必要な学習支援・経済支援・課外活動の在り方について引き続き検討する。 短期大学では、昨年度開催した就職ガイダンスのアンケート結果をもとに、問題点を改善して開催する等の就職支援を強化する。 保健福祉学科では、高齢者施設等でのアルバイト先を開拓し、実技能力の向上につなげる。

第三次中期構想	令和2年度事業計画
<ul style="list-style-type: none"> 学生の能動的な時間外学習を支援するため、学習環境の整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学では、新たな人間関係と学び方を支援する空間創造を目的として整備した本館1階の学生ホールを活用した学生主体の学びの取組を継続的に支援する。 看護大学では、学生主導のグループ学習推進のための支援をする。 短期大学では、ティーチング・アシスタント活用による時間外アクティビティを充実し、時間外学修を支援する。
<p>(2) 学生の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> アドミッション・ポリシーに基づき、厳格な入学者選抜を行うとともに、口腔医療、口腔保健、看護、介護を志向する意欲のある優秀な学生を確保するため、入学制度や試験制度のあり方について不断の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学では、アドミッション・ポリシーに基づき、厳格な入学者選抜を行い、令和3年度入学者を確保するとともに入学試験制度の充実を図る。また、前年に実施した入試広報の検証を実施し、より効果的な広報計画を作成する。 看護大学では、入学者実態調査結果や毎年の入学者の傾向から入学試験制度の検討をするとともに、引き続き他大学との試験日程の調整、指定校並びに入学者選抜について検討し、実施する。 短期大学では、アドミッション・ポリシーに基づき、厳格な入学者選抜を行う。また、令和3年度入試から変更した選抜方法については、その妥当性について検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ホームページや広報誌での入試情報の充実、オープンキャンパス、高校訪問、高大連携、同窓会との連携などを積極的に推進することで、口腔医学を身に付けた医療人の必要性をアピールするとともに、社会に貢献できる優秀な学生の確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 病院ホームページを新病院開院のタイミングに合わせてリニューアルする。 歯科大学では、高校・予備校訪問の拡大、SNSでの情報発信の拡大を検討する。 看護大学では、ホームページ及び大学案内で本学の学びの特徴や教科外の学生生活について紹介する。また、SNSを利用した広報活動を充実させる。 看護大学大学院サイトを開学に合わせて開設する。 短期大学では、ホームページの改善を図るとともに、引き続きより効果的な学生募集戦略を検討・実施し、学生を確保する。 短大サイトのリニューアルに向けて準備を進める。 学生との協働で企画・作成したページを広報誌に追加挿入する。
<p>4 社会との連携・貢献に関する目標</p> <p>(1) 医科歯科総合病院</p> <p>① 医科歯科総合病院における安全で良質な医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療ニーズに応え、医療の質を一層向上できるように、人材確保および人材養成のための方策を継続的に図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新病院に必要なスタッフの確保を100%達成する。 新病院開設に向けた医療スタッフ及び事務職員の院内研修計画を立案するとともに、院外研修については、施設基準獲得に有効であったか否かを検証する。
<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムに応じた診療体制の整備を行い、医科歯科連携および多職種連携を通して、地域医療連携に貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新病院の機能を踏まえて院内多職種カンファレンスの見直しを行う。 病診連携室の室長のもとに、他の急性期病院からの転院戦略を立案する。 摂食嚥下カンファレンス対象患者数を年間30例以上にするとともに、嚥下訓練に係る収入を前年度比105%にする。また、訪問歯科件数を前年度比105%以上にする。

第三次中期構想	令和2年度事業計画
<ul style="list-style-type: none"> 三大学の卒前・卒後教育と医療・保健・福祉職の生涯研修に貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「日歯生涯研修事業」としての受講者数等を検証し、次年度プログラムへ反映させるとともに、日歯生涯研修事業としての参加についても検討する。 新病院における院外向け生涯研修プログラムの内容を再検討し、出席者を増加させる。 オープンカンファレンスの有効性を調査し継続するか否かを検討する。 新病院での歯科大学の卒前教育（OSCE、登院実習）及び看護大学の病院実習並びに福岡医療短期大学の登院実習を円滑に行う。
<p>② 医科歯科総合病院の管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 学園および地域に立脚した機動的な病院戦略を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> サンシャインシティ・プラザ・センターからの入院患者数を前年度より増加させる。 病診連携運営委員会と病診連携室が、来院患者の症例内容及び地域医療ニーズを継続的に分析する。 病診連携委員会と病診連携室が、早良区の各地域包括支援センターに対して新病院の機能を連携パンフレットや連携クリニカルパスを利用して引き続き広報し、連携実績を上げる。
<ul style="list-style-type: none"> 病病連携および病診連携に対する方策を継続的に立てて実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新病院の病院パンフレットと連携パンフレットを作成する。 連携病院、連携施設の年間訪問計画を立て、病院パンフレット及び連携パンフレットを配布し、連携病院からの紹介患者数を前年より増加させる。 病診連携室取扱い患者数を前年比1%増にする。
<ul style="list-style-type: none"> 効率的で無駄のない病院経営を行うために、運用システムの中央化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新病院において、SPDシステム並びにサプライの完全中央化の安定的運用を図るほか、ME機器センターを設置する。
<ul style="list-style-type: none"> 災害時危機管理、患者情報保護および医療安全管理についての計画的整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策（指針、マニュアル、アクションカード）及び医療関連感染（HCAI）の防止対策を見直す。 消防訓練を引き続き実施するほか、新病院における医療安全パトロール、ICTラウンドを定期的実施する。また、新病院での医療安全・災害対策マニュアルを検討する。 個人情報の漏洩件数「0」を継続する。
<p>(2) 口腔医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者中心の安全で良質な医療と最新医療を提供し、病診連携の拠点として地域医療に貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> 医科歯科総合病院との連携マニュアルの見直しを行う。 同窓会、歯科医師会との連携を強化するとともに、紹介患者を含む新患の受入体制を充実させる。
<ul style="list-style-type: none"> 福岡歯科大学および福岡医療短期大学の卒前・卒後教育に貢献し、各種講習の開催を通して生涯研修の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生及び研修医の受入体制を見直し、安定した臨床研修医確保に努める。 同窓会、歯科医師会を対象とした研修参加者の募集活動を行う。
<p>(3) 介護老人保健施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムを支える老健施設として、地域のニーズを踏まえた保健・福祉の発展に寄与する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福岡歯科大学新病院の開設に伴い、病院と連携を図るとともに職種間連携を推進し、地域包括ケアシステムの柱である入所者の在宅復帰を推進する。

第三次中期構想	令和2年度事業計画
<ul style="list-style-type: none"> サンシャインシティ活性化委員会の提言に基づき、施設業務の見直し、改善および新たな取り組みを行い、施設の持続的発展を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 活性化検討委員会の提言を実践し、老健のベッド稼働率を向上させるとともに、加算型施設を継続する。 デイケア利用者増計画を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 三大学や他の教育機関の教育・研究および地域のボランティア活動の場を提供し、医療・保健・福祉を担う人材の育成および地域社会の保健・福祉活動と活性化に貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> 三大学のほか、教育機関の施設実習を積極的に受入れ、医療・保健・福祉を担う人材の育成に貢献する。また、地域のボランティア団体に活動の場を提供するとともに施設紹介・見学会等を行い、地域社会の保健・福祉活動に貢献する。
<p>(4) 新病院の開設</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 新病院の理念と基本方針を明確にして、地域医療および卒前・卒後教育に対応した新病院を設計する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新病院を開院する。 健診センターの開設に向け準備を進める。
<ul style="list-style-type: none"> 安心安全な医療の場を地域住民に提供するために、2020年度（平成32年度）までの開設を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 移転作業を完了させ、新病院を開院させるとともに、地域住民へ新病院の機能や安全性について周知する。また、新病院情報システムの運用を開始する。
<p>(5) 社会連携</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 大学ネットワークふくおか、西部地区五大学、七隈線沿線三大学の連携を推進し、地域貢献活動を拡充する。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア学生による地下鉄七隈沿線三大学地域貢献活動、西部地区五大学連携に基づく学習支援活動への支援助言を継続する。 福岡未来創造プラットフォームの令和2年度事業計画の取り組み実施に参画する。 歯科大学では、福岡未来創造プラットフォームの基本方針等に則って、取り組みを推進する。
<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献活動を基盤にした地域志向教育・研究を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学選択科目「福博の歴史と文化探訪」を継続開講するとともに、現地訪問授業において福岡商工会議所会議室を試用して、評価・改善検討を継続する。 コミュニティーカフェ「かふえもりのいえ」共催を継続し、引き続き地域の課題の発見と解決に努める。
<ul style="list-style-type: none"> 県・市・自治組織、医療・保健・介護・福祉等の職能団体との連携を拡充して地域連携プラットフォームを形成し、生涯研修プログラムの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学では、福岡市歯科医師会等から意見を聴取し、生涯研修プログラムの内容等について見直しを行う。 各種団体との共催による地域住民向け健康増進イベントを継続するとともに、地域の医師・歯科医師ならびに多くの医療・介護職種に向けた口腔医学に関する生涯研修プログラムを「連携の会」として定期的で開催し、地域包括ケアシステムの充実拡充に貢献する。また、学官民連携による早良区オーラルフレイル予防事業の実施対象を拡大する。 看護大学では、近隣施設の多職種や地域住民を対象とする教育・研修プログラムを計画、実施するとともに、学内で評価を行い、次年度の計画を立案する。
<ul style="list-style-type: none"> 地方自治体、医療・介護・福祉団体および地域での多職種連携を基盤とした地域包括ケアシステムの構築を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「口腔と全身の健康増進」、「介護予防」、「子育て支援」などに関連する健康情報を、地域の特性に適合した形式及び連携体制で提供できるよう、地域のステークホルダーとの連携を拡大強化する。 看護大学では、地域への支援体制を通して、地域支援事業や地域包括ケアシステムの支援を行うとともに、学内で評価を行い次年度の計画を立案する。

第三次中期構想	令和2年度事業計画
<ul style="list-style-type: none"> 同窓会との連携を拡充する。 	<ul style="list-style-type: none"> 創立 50 周年記念募金事業について、同窓会と連携して募金活動を継続する。年史編纂については、具体的な本文の内容について意見交換の場をつくる。
<p>(6) 国際連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ、北米およびアジアの姉妹校や他の海外の大学・研究機関との教育・研究連携を積極的に展開し、国際的視野をもつ医療人や教育・研究スタッフの育成を図るとともに、研究活動の国際的展開のための基盤形成を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学では、ヨーロッパ、北米及びアジア各国における姉妹校との交流環境の変化に対応した交流内容の見直し及び新規姉妹校協定締結のため、情報収集を行う。 看護大学では、他大学の国際交流の実態を把握し、本学の国際交流の方針を明確にするとともに、リヴァプール大学との国際交流の協定書締結及び交流の実施を目指し協議を行う。
<p>5 組織運営に関する目標</p>	
<p>(1) 教育・研究組織等の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 学長のリーダーシップの下、教育研究活動の不断の見直しを行い、社会の変化に柔軟に対応できる教育研究組織を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学長のリーダーシップの観点から必要な教育研究組織を検証する。
<ul style="list-style-type: none"> 三大学体制下における事務組織のあり方を検討し、課の統合やアウトソーシング等の効率的な事務組織を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> アウトソーシング等の効率的な事務組織のあり方を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 2022 年（平成 34 年）の福岡学園・福岡歯科大学創立 50 周年に向けて記念事業、寄附事業等の準備を開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> 募金事業について、同窓会と連携して募金活動を継続する。年史編纂については、具体的な本文の内容について検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 福岡看護大学の教育研究基盤を充実させるため、2021 年度（平成 33 年度）設置に向け、看護系大学院開設の準備を進める。（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> 大学院設置準備委員会を中心に、設置認可にかかる必要な諸手続、シラバスや授業科目の配置など、大学院教育を展開するための準備を進める。（再掲）
<ul style="list-style-type: none"> 社会のニーズ等を踏まえて、歯科衛生学科の学士課程への転換に向けた検討を継続し、保健福祉学科の改組（専門職業短期大学）を検討する。（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き学士課程に対応できる教員の育成確保を図る。（再掲） 今年度末の学科廃止に向けて文部科学省、福岡県等への届出・報告等の必要な手続き等を確実に進行。（再掲）
<p>(2) 人事制度の充実と人材確保</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 学園および各大学等の円滑な運営を推進するため、人材育成計画を検証し、有能な人材を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修計画等の人材育成計画を検証し、必要な対応を進める。 他大学の人材確保方法等を調査し、必要な見直しを行う。
<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の観点から人事考課制度の検証を行うとともに、考課結果を適正に処遇に反映する。また、意欲、能力、実績を踏まえた効率的な職員配置によって組織力の最大化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員の評価基準について、成長意欲向上の観点から人事考課制度の検討を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 職務の高度化・専門化および教職協働の強化等を視野に、教職員の意識改革と能力向上に向けた FD・SD を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福岡未来創造プラットフォームの FD・SD を利用して教職員の意識改革と能力向上を図る。
<p>(3) 評価システムの充実</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 本学園の組織運営に係る内部質保証の確立に向け、効果的な自己点検・評価を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 大学基準協会の第 3 期認証評価基準に基づき認証評価を受審し、適合評価を得る。

第三次中期構想	令和2年度事業計画
<ul style="list-style-type: none"> 福岡歯科大学は歯学教育認証制度（分野別認証制度）の本格開始に向けた準備を行うとともに2020年度（平成32年度）に大学基準協会の認証評価を受審する。福岡看護大学は2022年度（平成34年度）に大学基準協会の認証評価を、福岡医療短期大学は2021年度（平成33年度）に短期大学基準協会の認証評価を、医科歯科総合病院は2017年度（平成29年度）に日本医療機能評価機構の病院機能評価を、それぞれ受審する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大学は、大学基準協会の第3期認証評価受審に万全を期し適合判定を得る。 短期大学は、認証評価受審を申請し、自己点検・評価報告書の作成を開始する。 日本医療機能評価機構の更新準備を開始するとともに、受審への対策（予算組みなど）を検討する。
<p>（４）情報公開の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己点検評価、認証評価を始め、学園活動の積極的な情報発信に努め、公益に資する適時かつ適切な情報公開を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己点検・評価、教育研究活動等のほか、財務情報等を積極的に学内外に公開する。
<ul style="list-style-type: none"> 学生や患者等のニーズに応じた分かりやすい情報を発信するため、広報戦略を見直すとともに学園広報体制を充実させ、情報発信力の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生・患者等へのアンケートを実施、分析するとともに、広報計画について検証を行う。
<p>（５）危機管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然災害や医療事故など想定される様々な危機事象への対応を日常的に見直し、危機管理体制を強化する。また、学生・教職員に対し安全に関する意識啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学園災害対策本部の災害対策マニュアルを策定する。 本館等の災害対策マニュアルを見直し、改訂する。
<ul style="list-style-type: none"> 諸規則を遵守、整備し、健全な法人運営を堅持するとともに、監査環境の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 監査環境の充実に向け、監事と内部監査室との連携強化を進める。 公的研究費に関するガイドラインに基づき、適正な執行管理を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティに対する教職員の意識向上を図るとともに、重要情報を適切に保護するシステムの構築に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な学内LANを維持するため、昨年度の検討結果を踏まえ、新たな脅威にも対応可能な技術的セキュリティ対策を行う。 学園が大規模自然災害や火災などで被災した際の事業継続のための重要データの遠隔施設でのバックアップについて、見直しを行う。 H27年度から開始したセキュリティ講習中級の有効期限が切れるため、対象の教職員に改版した内容での受講を推進する。
<p>6 財務・施設に関する目標</p> <p>（１）財政基盤の強化</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 本学園が継続的に発展し、社会からの要請に的確に応えるため、第三次中期構想を踏まえた財務計画を策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度決算を基に、中期構想における財務計画を検証し、必要に応じて、計画修正を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 学生納付金を安定的に確保するとともに、外部資金（補助金・寄付金等）の獲得および保有資産の運用による増収に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 私立大学等経常費補助金等の増額に向け、関係各課が理解・協力し、申請を行う。 資金運用については、リスク分散を行い、効果的かつ安定的な収入を確保する。
<ul style="list-style-type: none"> 医科歯科総合病院、口腔医療センター、介護老人保健施設は収支改善に努め、早期に独立採算による安定した運営を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 新病院による3%の患者増を見込む。 口腔医療センターでは、継続的な医療安全の徹底を図るとともに、病診連携を強化し、新患の受入れ体制を充実させ

第三次中期構想	令和2年度事業計画
	<ul style="list-style-type: none"> る。 入所(短期入所を含む)、デイケア、リハビリが連携し、1日平均の利用者増に取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> 効率的予算執行と業務合理化により経費の抑制を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画及び費用対効果を踏まえた予算編成を実施し、予算の効率的な執行に努める。
<p>(2) キャンパス整備計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎および教育研究・医療設備等の改修・更新計画を策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存校舎及び施設設備の改修について当該年度計画の実施及び次年度以降の年次計画を策定する。
<ul style="list-style-type: none"> 福岡歯科大学医科歯科総合病院の建替え等、既存施設の老朽化や新たな施設需要に対応するため、財政状況に応じた実効性のある施設マネジメント(施設整備や維持管理、既存施設の有効活用、省エネルギー対策、財源確保等)により、計画的・重点的な整備を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 開学50周年に向けた記念講堂の新築に着手すると共に既存建物の更新計画に着手する。 エネルギー使用合理化を引き続き推進し、熱・電気等のエネルギー使用量削減に努める。 情報図書館図書管理規則に則り、引き続き蔵書点検(1年で3分の1点検、約5万冊)を図書システムにより実施し、蔵書情報の整理を行う。 1階保存書庫の有効活用のため、引き続き利用のない重複図書等を中心に不要図書を選定し、図書の整備を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> 学生・教職員および地域住民の安全に配慮し、自然災害等に対応できる安全安心なキャンパス環境を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した既存建物を学生・教職員及び地域住民の安心安全に配慮し、改修を検討する。